



JASDAQ

平成30年11月14日

各位

シライ電子工業株式会社
代表取締役社長 小谷峰藏
(コード番号: 6658)
問い合わせ先: 常務取締役 経営企画・営業担当
亀井正巳
電話番号: 075-861-8100

平成31年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ
及び平成31年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年5月15日に公表（以下、「前回公表」という）いたしました平成31年3月期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）の連結業績予想につきまして、実績値との差異が発生することになりましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、前回公表いたしました平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正することになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異
(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(単位: 百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	14,500	100	80	60	4.29
今回実績(B)	13,994	△90	△243	△515	△36.89
増減額(B-A)	△506	△190	△323	△575	—
増減率(%)	△3.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	13,851	200	136	76	5.47

2. 差異発生理由

売上高につきましては、プリント配線板事業におけるホームアプライアンス関連及び通信・事務機器関連の販売及び検査機・ソリューション事業におけるプリント配線板外観検査機（VISPERシリーズ）の販売が計画を下回ったことから、前回公表いたしました業績予想に比べ5億6百万円の減収となりました。

営業損益につきましては、売上高が減収となったことや原材料価格の高騰による影響が予想を上回ったこと、また生産拠点を置く中国においてドルに対する現地通貨高が進んだことが収益を圧迫したことから、前回公表いたしました業績予想に比べ1億90百万円の減益となりました。

経常損益につきましては、営業利益が減益となったことや為替相場の変動に伴い海外子会社間の取引において為替差損が発生したことから、前回公表いたしました業績予想に比べ3億23百万円の減益とな

りました。

親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常利益が減益となったことや海外子会社において移転価格税制調査後の税務当局による継続監視に伴い、前期分の移転価格について修正申告を行う可能性があり通期での業績予想には見込んでいたものの、第2四半期までに計上することになったことから、前回公表いたしました業績予想に比べ5億75百万円の減益となりました。

3. 連結業績予想の修正

平成31年3月期連結業績予想の修正（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（単位：百万円・％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	30,000	500	400	250	17.89
今回予想(B)	29,000	400	250	50	3.58
増減額(B-A)	△1,000	△100	△150	△200	—
増減率(%)	△3.3	△20.0	△37.5	△80.0	—
(ご参考) 前期実績 平成30年3月期	28,522	438	515	54	3.88

4. 修正の理由

売上高につきましては、カーエレクトロニクス関連及び電子応用関連は堅調に推移しているものの、直近の状況から判断して期初の計画を達成することは若干厳しい状況であることから、前回公表いたしました業績予想に対し10億円未達の290億円となる見込みであります。

営業損益につきましては、売上高が減収となる見込みであることや下期は海外を中心に業績は回復し、利益を確保できる見込みではあるものの、上期の減益分を全て取り戻すことは厳しい状況であることから、前回公表いたしました業績予想に対し1億円減益の4億円の営業利益となる見込みであります。

経常損益につきましては、営業利益が減益となる見込みであることや為替相場の変動に伴い為替差損の発生が予想されることから、前回公表いたしました業績予想に対し1億50百万円減益の2億50百万円の経常利益となる見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益が減益となる見込みであることや海外で税金費用の増加が予想されることから、前回公表いたしました業績予想に対し2億円減益となる50百万円の親会社株主に帰属する当期純利益となる見込みであります。

※業績予想につきましては、本資料発表時現在において得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は状況の変化により、上記の予想数値と異なる場合があります。

以 上